

平成 2 2 年度

社会福祉法人 倉敷市総合福祉事業団

事業計画並びに予算書

平成 2 2 年 3 月

社会福祉法人 倉敷市総合福祉事業団

## 理 念

私たち

社会福祉法人倉敷市総合福祉事業団は  
保健や福祉のサービスを通じて、  
暮らしやすい地域社会の創造に貢献する  
とともに、すべての人が安心・充実した  
生活が送れるよう支援します。

## 基本方針

- 1 , 人権を擁護し , 法令を遵守した運営を行います。
- 2 , 公益性・公平性・効率性を重視した運営を行います。
- 3 , ひとりひとりに安心と満足のできるサービスを提供します。
- 4 , 暮らしやすい地域社会を創造する活動に積極的に参加します。
- 5 , 保健・福祉の拠点として柔軟性と機動力を備え , 先進的な取り組みに挑戦します。
- 6 , 保健福祉のプロ集団として豊かな創造力と熱い情熱を持って業務を行います

# 目 次

## 【事業計画】

平成 2 2 年度社会福祉法人倉敷市総合福祉事業団事業計画	-----	1
施設別事業計画	-----	2
1. 暮らしき健康福祉プラザ管理業務	-----	3
2. 保健福祉相談室	-----	4
3. 健康増進センター	健康づくり事業 -----	5
	介護予防事業 -----	7
4. 子育て支援センター	子育て支援事業 -----	10
	感覚矯正事業 -----	12
5. 倉敷市障がい者デイサービスセンター	-----	14
6. 憩の家	-----	15
7. 障がい者就業・生活支援センター	-----	16
8. 倉敷市ふじ園	-----	18
9. 倉敷市くすのき園	-----	21
10. 老人福祉センター	西岡荘 -----	23
	有城荘 -----	24
11. 障がい者支援センター	児島障がい者支援センター -----	26
	玉島障がい者支援センター -----	27
12. 倉敷市児童館	-----	29
	倉敷児童館 倉敷北児童センター 水島児童館	
	児島児童館 玉島児童館 真備児童館	
13. 在宅福祉課	-----	33

## 【一般会計予算】

平成 2 2 年度社会福祉法人倉敷市総合福祉事業団一般会計予算	-----	35
経理区分別収入支出予算明細書	-----	

## 【特別会計予算】

平成 2 2 年度社会福祉法人倉敷市総合福祉事業団特別会計予算	-----	46
経理区分別収入支出予算明細書	-----	

## 【授産施設会計予算】

平成 2 2 年度社会福祉法人倉敷市総合福祉事業団授産施設会計予算	-----	52
経理区分別収入支出予算明細書	-----	

平成 22 年度社会福祉法人倉敷市総合福祉事業団事業計画

米国における金融不安は、いまなお世界各国の経済に深刻な影響を与えており、また我が国においても、政治・経済・社会などあらゆる分野において大きな変革期を迎えています。

このような状況の中で、全国社会福祉事業団は、設置主体の自治体において行財政改革や指定管理者制度による運営が着実に進められており、存在意義が大きく問われている状況にあります。

倉敷市総合福祉事業団においても、財政基盤を確立し、自主性・自立性を発揮できる柔軟な法人経営に向けて努力することが一層求められており、民間企業や他の社会福祉法人との厳しい競争下、存在意義を明確にすることが重要となってまいりました。

まさに、「自己改革と経営基盤の確立」に向けて歩んでいかなければなりません。

このことを踏まえ、これまで培ってきた多種、多様な人的資源や施設機能を活用し、社会情勢の変化に的確に対応できる基盤強化や自己改革、市民の多様化・高度化する福祉のニーズに即応できる人材育成とサービスの向上を図ることを、最重要課題として取り組んでまいります。

また本年度は、玉島児童館の移転新築や水島障害者支援センターが新設され、指定管理者としての業務が始まりますので、本部機能の組織強化を図るとともに、計画的な正規職員の採用、中・長期経営計画の策定、職員研修体系の早期確立等を実行し、永続的な人材育成を基本に、さらなる業務能力の向上に努めてまいります。

全職員が一丸となって、利用者・保護者・関係機関の皆様のご理解とご協力を頂きながら、地域に根ざした事業団となるよう最大限の努力をしてまいりますので、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成 22 年 3 月 26 日

社会福祉法人 倉敷市総合福祉事業団  
理 事 長 赤 澤 猛

# 1. 暮らし健康福祉プラザ管理業務

総務課

指定管理者として、暮らし健康福祉プラザの貸出施設の使用許可ならびに施設設備の維持管理業務（デイサービスセンター・保健所を含む）を、倉敷市総合福祉事業団とクラレテクノ株式会社が、平成21年度から共同事業体として運営しています。

これまで培って来た福祉サービス提供力や施設・設備のメンテナンス技術力等のノウハウを結集して、円滑に業務を遂行します。

そして、暮らし健康福祉プラザが、全体として効果・効用を十分発揮し、施設利用者に安心と満足感を与える施設となるよう、一体となって実現します。

さらに、施設の管理及び運営においては、プラザ内で事業団が実施する福祉事業との連携や、他の類似施設との連携を密にすることにより、センター・オブ・センターの機能を最大限発揮するよう努めます。

## 【主な事業内容】

### (1) 下記施設の使用許可

プラザホール・工芸室・視聴覚室・調理室・研修室（4室）・和室研修室・体育館  
水浴訓練室

### (2) 施設及び設備の維持管理（デイサービスセンター・保健所を含む）

### (3) 自主事業

比較的利用が少ない夜間の調理室を有効利用するため、「男性料理教室」等を開催します。

障害者の自立支援等のため、プラザ1階に作品の展示即売コーナーを開設します。プラザ壁面のスペースを活用して、高齢者や障害者、各種団体の作品発表などをします。

「暮らし健康福祉プラザまつり」を開催（1回/年：秋）します。

平成21年度は新型インフルエンザのため中止

		H20年度実績	H21年度見込	H22年度目標
一般	人数	49,943人	38,705人	39,479人
	料金	4,960,610円	5,085,995円	5,187,714円
減免	人数	106,035人	117,195人	119,538人
	料金	9,539,615円	10,204,900円	10,408,998円
合計	人数	155,978人	155,900人	159,017人
	料金	14,500,225円	15,290,895円	15,596,712円

## 2. 保健福祉相談室

健康福祉課

高齢者，障がい者その他の市民に対する保健福祉に関する相談事業と各種福祉機器，福祉用品，住宅改造モデル等の展示事業や保健福祉関係の図書，資料，インターネット等による情報提供事業を行い，市民の保健福祉の向上に寄与します。

### 【主な事業内容】

#### (1) 保健福祉相談事業

保健福祉に関する一般的初期相談を行うとともに内容に応じ，専門的相談窓口等を具体的に紹介します。

手話通訳者を配置して，聴覚障がい者のプラザ及び保健所等での相談や各種手続きの支援，プラザ内で行われる身障デイのパソコン講座や子育て支援センターの行事などへの参加・支援を行います。また，水島・児島・玉島地区においてそれぞれ月1回以上出張して相談者の支援を行います。

#### (2) 福祉機器等展示事業

各種福祉機器や福祉用品約200点を展示し，体験や説明を行い，在宅生活に活用できるよう最新の情報を提供します。また，健康な人にもいろいろな障がいを想定した体験により，障がいがある人の実生活と予防について理解を深められるよう支援します。

福祉機器展示コーナーに特設展示スペースを設け，新商品を展示することで市民への情報提供に努めます。商品は3カ月に1度入れ替えを行います。

重点項目として，夏休み期間中に，市内の小学生を対象にプラザバリアフリー探検・福祉機器体験教室を10回以上実施します。また，市内の児童館に6回出前を行い地域の児童に福祉機器体験教室を実施し，福祉について理解を深めると共に参加者の増加に努めます。

住宅改造モデルコーナーにおいて，高齢者，障がい者等が自宅において日常生活を営む上で介助を要する人及び家族が，生活しやすくなるような住宅改造モデルを展示し，疑似体験を通して情報提供を行います。

福祉用具特別展を年2回実施し，専門家によるミニ講座を開くなど，より多くの福祉機器情報を提供します。

#### (3) 情報提供事業

図書コーナーにおいて，保健福祉に関する図書，資料を収集し閲覧に供します。また，情報提供コーナーではパンフレットやインターネット活用により，保健福祉情報を提供します。

区 分	H20年度実績	H21年度見込	H22年度目標
保健福祉相談	3,361人	3,350人	3,400人
展 示	福祉機器展示	4,536人	4,020人
	疑似体験者数	838人	420人
バリアフリー探検・出前	296人	280人	320人
情報提供事業	747人	1,570人	1,600人
合 計	9,778人	9,640人	10,700人

#### 健康づくり事業

健康づくり事業は、18歳以上の市民または市内に勤務する人で、特定健康診査等により、健康の保持に努める必要がある者に対し、「食事・運動・休養」の観点から生活習慣病の予防を目的に「健康づくり」の支援を行います。

「健康づくり」の実践として、ヘルスチェック受診後の個別支援プログラム（個人処方）を基にトレーニング器具や水浴訓練等による運動指導、食事指導及び休養指導を行います。また、各種セミナーや個別相談等を通じて総合的に市民の健康管理への動機づけや生活習慣改善の指導を行います。

そのうち、65歳以上の高齢者にいきいきと自立した生活が実現できるよう、筋力低下や転倒防止のための運動能力向上のトレーニングや心身ともに健康を維持するための食事指導、休養の支援等を行います。

特定保健指導は、40歳以上の個人・グループを対象に生活習慣病予備軍の減少をめざし、生活習慣の改善に実践可能な行動計画を対象者自らが決定し、定めた期間で実行するための支援を行います。

このほか、プラザから遠い地域（児島・水島・玉島・真備・船穂地区）の住民に、健康づくりを始めていただくため、家庭でも手軽にできる内容のお出かけ運動教室や、団体等の依頼により健康づくりを啓発するための栄養や休養の講話や健康体操の出前教室を行います。

なお、利用者の目的に応じた健康情報などの提供や健康づくり技法の開発のほか、総合的な市民の健康づくりの拠点としての役割を果たしてまいります。

#### 【主な事業内容】

##### （1）個別支援プログラムを主とした健康づくりの実践

ヘルスチェック及び個別支援プログラム（運動・食事・休養の処方）の作成  
メディカルチェック・ヘルスチェックのデータに基づき、一人ひとりに適合した運動・食事・休養の処方を作成します。

##### 健康づくりセミナー

###### ア 健康づくり実践セミナー(全10回)

生活習慣病の予防を目的に、運動・食事・休養を総合的に学ぶことができる教室を開講します。生活の中に運動習慣を確立することで肥満を解消し、動脈硬化により発症する脳卒中・心筋梗塞等の疾患を予防します。

###### イ 栄養セミナー

「食べること」の意味を理解し、正しい食生活を実践していただくために、生活習慣病予防等のテーマを設定して「食育」も含めた健康づくりのセミナーを実施します。また、高齢者（65歳以上）の介護予防を目的に食事指導を行います。

###### ウ 休養セミナー

ストレスによる心の病気や心身症等を予防することを目的に、アロマなどを取り入れたリラクゼーションを中心としたセミナーを実施します。また、高齢者（65歳以上）の心身の健康維持のために講話等を実施します。

#### フリートレーニング

トレーニングルームで個人の運動メニューを基に自由に運動実践を行っていただくとともに、体育館、水浴訓練室を使用した各種教室を開催し、個人の目的や志向、レベルに応じた運動を自由に選択し効果的な運動プログラムの実践ができる場を提供します。また、高齢者（65歳以上）の介護予防を目的に筋力・体力を向上させる指導を行います。

#### お出かけ運動教室

くらしき健康福祉プラザから遠い児島・玉島・水島・真備・船穂地区の市民を対象に、運動の楽しさを知り日常生活に運動を取り入れてもらえるよう出前教室を行います。

#### 個別相談

自分の健康について疑問や不安がある人を対象に、より安全で快適な健康づくりのための健康相談及び指導を健康運動指導士・管理栄養士・看護師・保健師・医師が行います。

### （2）特定保健指導

特定健康診査等により、健康の保持に努める必要がある40歳以上75歳未満の個人・グループを対象とした特定保健指導を行います。

健診結果から生活習慣を振り返り、自ら健康づくりに取り組んでいけるように、支援します。また、その6ヶ月後の健康状態の評価を行います。

#### 動機づけ支援

特定保健指導対象者が、自らの健康状態を自覚し、医師、保健師、または管理栄養士の面接・指導のもとに行動計画を策定し、生活習慣の改善のための支援を実施するとともに、実績評価を6ヶ月後に行います。

#### 積極的支援

特定保健指導対象者が、自らの健康状態を自覚し、医師、保健師、または管理栄養士の面接・指導のもとに行動計画を策定し、健康づくりに取り組める適切な働きかけを継続して3ヶ月以上実施するとともに、実績評価を6ヶ月後に行います。

### （3）健康づくりに関する普及・啓発

健康増進に関する情報の収集・提供を行い、利用者が健康づくりの技術を高められるよう支援します。また、出前運動教室として、親子クラブや幼・小・中のPTAと連携を図り、若い世代からの健康づくりの実践を目的に各種団体等からの要望により管理栄養士・健康運動指導士やスポーツプログラマーが現地に出向き、健康づくりのための栄養（食事）や健康体操の指導を行います。

### （4）健康づくり関係機関との連携

倉敷市保健所、岡山県南部健康づくりセンター、岡山大学スポーツ教育センターや市内の健康づくり施設・団体と連携して、健康づくりを推進します。

また、産業保健分野と連携し生活習慣病を予防するための効果的な保健指導を検討



し、さらに科学的なデータにより健康づくりの事業評価を行います。

区 分	平成 2 0 年度実績	平成 2 1 年度見込	平成 2 2 年度目標
ヘルスチェック	7 1 7 人	8 5 0 人	9 0 0 人
各種セミナー等	7 2 0 人	1 , 0 0 0 人	1 , 1 0 0 人
フリートレーニング	2 0 , 7 5 8 人	2 1 , 0 0 0 人	2 2 , 2 0 0 人
おでかけ運動教室	2 4 7 人	2 8 0 人	3 0 0 人
特定保健指導 動機づけ支援	1 5 人	1 6 人	3 0 人
積極的支援	2 人	4 人	1 0 人
健康づくりに関する普及・啓発等	1 , 8 8 9 人	1 , 9 0 0 人	2 , 0 0 0 人
計	2 4 , 3 4 8 人	2 5 , 0 5 0 人	2 6 , 3 4 0 人

## 介護予防事業

### 「介護予防普及啓発事業」

介護保険制度における軽度要介護者が急増していることを受けて、65歳以上の介護認定を受けていない高齢者を対象に、地域において介護の必要のない健康で明るい生活が送れるよう支援します。くらしき健康福祉プラザや地域の憩の家・集会所・公民館等を会場とし、スタッフの運動健康指導士・理学療法士・音楽療法士・作業療法士・看護師の専門性を活かした、転倒予防教室・介護予防啓発事業・出前健康教室・認知症予防教室・介護予防リーダー養成事業を実施します。

### 「生きがい対応型デイサービス事業」

おおむね60歳以上の介護認定を受けていない高齢者等で、とかく家に閉じこもりがちになる高齢者の社会参加の促進、介護予防及び生きがいの向上を目的に、老人福祉センター、地域の憩の家等において生きがいや健康づくりに関する各種講座を生きがい対応型デイサービス事業として開催します。

### 【主な事業内容】

#### (1) 介護予防普及啓発事業

##### 転倒予防教室

転倒骨折の防止及び加齢に伴う運動機能低下の予防・向上を図るための健康体操や音楽療法・健康講話等の教室を開催します。

- ・くらしき健康福祉プラザを会場とし、マシンや各種器具を利用して転倒予防のための基礎体力の維持・向上を図ります。教室終了後も参加者が居宅等で継続して行えるようエクササイズメニューを提供します。
- ・昨年度より実施した3か月コース等利用期間に幅を持たせることでより多くの利用に応えます。
- ・音楽療法教室は好評につき、隔週だったものを毎週実施します。

3～6か月(週1回/10～20回), 20教室, 定員20人程度

区 分	H20年度実績	H21年度見込	H22年度目標
転倒予防教室	6,798人	6,700人	6,800人
音楽療法教室		260人	500人

#### 介護予防啓発事業

各地区憩の家及び公会堂等へ出向き, 寝たきり防止のための健康体操・音楽療法等を実施し, 地域において介護予防に向けた取組が主体的に実施できるよう支援します。

- ・昨年度より実施した3か月コース等利用期間に幅を持たせることでより多くの利用に応えます。
- ・地域性を勘案し, 実施地域の均衡を図ります。

3～6か月(週1回/10～20回), 25教室, 定員20人程度

区 分	H20年度実績	H21年度見込	H22年度目標
介護予防啓発事業	4,041人	7,800人	7,900人

#### 出前健康教室

主に市内で活動する団体や自主グループを対象に単発もしくは隔週で地域における介護予防活動の育成・支援のため啓発・指導・助言を行うとともに, 健康体操や音楽療法・健康講話等の教室を開催します。

- ・基幹公民館・地区公民館にも積極的にPRし, 寿大学や高齢者向け講座と連携し, 講師派遣や講演会の共同開催を進めます。
- ・老人クラブ・愛育委員・公民館等と連携を取り, 介護予防の認知度を高めるため地域の会合に出向き, PR活動を心がけ, 介護予防の普及・啓発を図ります。

年間110教室, 定員20人程度

区 分	H20年度実績	H21年度見込	H22年度目標
出前健康教室	2,196人	2,300人	2,400人

#### 認知症予防事業

認知症の発症及びその進行を防止し, 介護予防及び生きがいの向上を図ります。脳力トレーニング・音楽療法・軽易な体操・創作活動等を行うことで, 個々の脳の活性化を図り生活のリズムを取り戻し, 明るい生活が送れるための教室を開催します。

6か月(週1回/20回), 2教室, 定員15人程度

区 分	H20年度実績	H21年度見込	H22年度目標
認知症予防事業	351人	550人	560人

平成20年度は1教室, 平成21年度からは2教室実施。

#### (地域介護予防活動支援事業)

地域住民に対する介護予防意識の浸透を図るため, 地域における介護予防の担い

手となる人材を育成するため、介護予防に関する知識及び技術等を習得する教室を開催します。介護予防リーダー養成事業では介護予防に関心を持ち、地域においてリーダーとして活動する意欲のある人を対象に教室を開催します。

3か月間(週1回/10回)、2教室、定員25人程度

区 分	H20年度実績	H21年度見込	H22年度目標
介護予防リーダー養成事業	150人	400人	410人

平成20年度は1教室、平成21年度は2教室実施。

## (2) 生きがい対応型デイサービス事業

地域の憩の家及び公民館等において、生きがいや健康づくりに関する講座を実施します。

利用者のニーズに合った講座内容とし、高齢者の社会参加の促進、介護予防及び生きがいの向上を目標に健康体操を中心とした講座を開催します

地域性を勘案し、実施地域の均衡を図ります。

5～6か月(週1回・20回)、10教室、定員20人程度

区 分	H20年度実績	H21年度見込	H22年度目標
生きがい対応型デイサービス事業	4,252人	3,800人	3,900人

### 子育て支援事業

少子化や核家族化，地域交流の希薄化が進む中で，子育てをしている親の孤立感をやわらげ，育児不安や育児負担の軽減が図れるよう気軽に相談できる場，安心して利用できる場づくりに努めます。また，子育てについての情報提供や子育てサークル支援，育児サポーター養成講座等を行い地域全体で子育て支援ができる環境づくりに努めます。

#### 〔主な事業内容〕

##### ( 1 ) 相談業務の充実

保育士・保健師を配置し，いつでも気軽に相談に応えられる体制とします。月 1 回臨床心理士による特別相談を予約制で実施します。また，子育て中の母親のみならず，子育て支援関連機関からケースについての相談を受け，虐待やDV等の予防や早期発見等相談事業の充実を図ります。保健所や教育センター等の関係機関と連携し，障がい児の早期発見や適切な対応を行い，安心して子育てができる環境づくりに努めます。

集団生活への適応と自立意欲の増進・親子関係確立等のため，少人数でゆったり関わられる水浴療育や音楽遊びなどを充実します。

親同士が気軽に話し合える環境づくりをして，座談会形式で実施してきた従来の「ほっとサロン」の内容を充実させ，スキンシップの仕方や遊ばせ方など専門家を交え「ベビーマッサージ」「救命救急講座」を行うなど，より実践的な子育て支援を毎月実施します。

##### ( 2 ) 情報提供

子育て支援関係機関とのネットワークを密にして情報提供の充実を図るとともに，倉敷市が作成した「子育てガイドブック」の配布や広報くらしき・広報チャンネル等を通して，より広く情報提供に努めます。

育児書や情報誌の貸出し・絵本やおもちゃの紹介・子育てのアドバイス等，子育てに関する情報の提供に努めます。

##### ( 3 ) 子育て講演会（交流会）

子どもの理解と親の心の癒しを目的に，専門家による子育てに関する講演会（交流会）を年 1 回以上実施します。

##### ( 4 ) 地域子育て支援センター等の連携

地域子育て支援センターや児童館等と連携をもち，子どもの発達や育児に関する相談や情報提供に努め，保健師や保育士の専門性を生かしながら育児の支援をします。子育てサークルにおいて遊びの指導や遊具の貸出しを行い，お母さんたちの主体的な活動を支援します。

子育てサポーター養成講座の研修会の拠点として，ボランティア意識を高め，そ

それぞれの地域において子育て経験者による育児のアドバイス等ができるように支援します。

(5) オープンスペース(遊びのひろば)の常設

親子で触れ合いながら遊ぶ場を通して母親同士の交流を広げて育児の孤立感を軽減し、スタッフが関わりながら母親の育児の不安や悩み等を共に考え、楽しく子育てができるように支援します。

(6) ひろば事業(こいのぼり, たなばた, クリスマス, ひなまつり)の開催

伝統行事を大切にし、季節ごとの遊びの集いを通して製作やシアター・リズム遊び等を親子で一緒に楽しみながら子どもの情操を育みます。また、「親子で音を楽しむ会」のミニコンサートと触れ合い遊びの「親子体操」を年2回実施します。

(7) おもちゃ図書館事業

おもちゃを通して自主性や社会性を育むための遊びの場を提供するとともに、心身に障がいのある18歳未満の児童におもちゃの貸し出しを行います。

区 分	H 2 0 年度実績	H 2 1 年度見込	H 2 2 年度目標
各種相談(ゆったり教室)	3, 179人	3, 863人	3, 900人
ほっとサロン	440人	710人	730人
療育的教室	806人	550人	700人
プール・音楽遊びほか	132人	250人	270人
オープンスペース(遊びのひろば)	18, 785人	18, 080人	18, 300人
おもちゃ図書館	985人	680人	750人
ひろば事業(伝統行事)	321人	240人	300人
講座・講演会	285人	1, 060人	1, 100人
ファミリーコンサート	251人	新型インフルエンザの為に中止	260人
地域子育て支援(児童館他)	703人	500人	550人
ボランティア 他	260人	490人	500人
計	26, 147人	26, 423人	27, 360人

## 感覚矯正事業

視覚機能や言語聴覚機能について、障がいの早期発見、相談、訓練指導、情報提供を通して市民の健康と福祉の向上を図ります。

事業の柱である早期発見については、倉敷市が行う3歳児健診に視能訓練士と言語聴覚士が参加することで、健診業務の機能が向上されるよう市保健所との協力体制を強化しながら実施します。また、早期発見後のフォローや相談者に適切な対応を行うため、医療機関や他の関係機関との連携を深めてまいります。

職員の知識・技能の向上を図り、市民や関係者から信頼や安心を得られるよう努めます。

### 【主な事業内容】

#### (1) 視能訓練事業

##### 3歳児健診への参加

倉敷市が行う3歳児健診に参加し、視覚障がいの早期発見に努めます。

##### 相談・視覚検診事業

見え方に不安がある人に対して相談に応じるとともに、嘱託医の指示のもと必要な検査を行います。また、相談・検査の結果に応じて医療機関を紹介します。

##### 視覚障がい者の支援

視覚障がい者の自立支援のために視覚補助具の紹介・使用訓練を行います。また、必要に応じて訪問にて相談、訓練を実施します。

##### 視機能訓練

眼球運動または視知覚等の発達に偏りがあり「読み」、「書き」、が困難な市内の就学前から小学生に対して、視機能に関する相談、検査のほか学習を行う上で基礎となる「見る力」を高める訓練を実施し、読み書きに必要な基礎的な見る力の向上に努めます。

##### 情報提供

市民及び関係機関に目の健康、視覚障がいの早期発見等の情報提供のほか関係機関（社会福祉施設、医療機関、教育機関等）からの要請に応じて、専門的な支援を行います。また、出前講座として、子どもをもつ保護者の知識向上、早期発見のポイントについて啓発を行い、子どもにとって身近な保護者が視覚の障がいを早期発見できるように情報提供を推進します。

##### 視覚障がい者のサロン事業

視覚障がい者用のグッズ展示（補装具および日常生活用具、便利グッズ等）および、当事者同士の情報交換の場を提供します。

#### (2) 言語聴能訓練事業

##### 3歳児健診への参加

倉敷市が行う3歳児健診に参加し、言語聴覚機能の障がいの早期発見に努めます。

##### 来所者に対する相談・検査

言葉に関する相談に応じるとともに、必要に応じて検査を行います。また、聞こ

えに関する相談・検査については、医療機関と連携し適切な対応を行います。

#### 言語に関する訓練

言語発達の遅れ・言語障がいを持つ人に対して、グループを中心とした言語訓練を行います。

#### 関係機関との連携

幼稚園・保育園・幼児児童教室と連携を強化し、言語訓練利用者の社会生活がより円滑に行えるよう専門機能を提供し、必要に応じて情報交換やケース会議を行います。

#### その他の関係機関との連携

社会福祉施設・市民団体等からの要請に応じて、講座の開催・情報提供のほか専門機能の提供を行います。

#### 家族支援

グループ活動を通して保護者同士の交流を深め、家庭や社会生活での悩みや不安を軽減できるよう支援します。

#### 「のびのび教室」の開催

3歳までのことばの発達に不安がある親子を対象とした集団療育教室を子育て支援センターと連携して試行的に実施します。

### 視能訓練事業

区 分	H 2 0 年度実績	H 2 1 年度見込	H 2 2 年度目標
相 談	1 7 5 人	2 7 0 人	2 7 0 人
診 察	1 7 人	2 0 人	2 0 人
訓 練	2 5 4 人	2 1 0 人	2 1 0 人
施設外活動 等	3 9 4 人	5 2 0 人	6 0 0 人
3 歳児視覚検診	1, 2 8 3 人	1, 2 8 0 人	1, 2 8 0 人
合 計	2, 1 3 7 人	2, 3 0 0 人	2, 3 8 0 人

3歳児視覚検診は3歳児検診での見え方に関する個別相談(アンケート項目該当者のみ)

### 言語聴能訓練事業

区 分	H 2 0 年度実績	H 2 1 年度見込	H 2 2 年度目標
相 談	2 7 9 人	1, 2 0 0 人	1, 2 0 0 人
訓 練	1, 2 3 8 人	8 3 0 人	8 8 0 人
地域活動 等	2 6 5 人	2 6 0 人	2 7 0 人
3 歳児聴覚検診	7 7 9 人	6 4 0 人	6 4 0 人
合 計	2, 6 1 3 人	2, 9 3 0 人	2, 9 8 0 人

3歳児聴覚検診は3歳児検診での聞こえ・ことばに関する個別相談(アンケート項目該当者のみ)

## 5 . 倉敷市身体障がい者デイサービスセンター

健康福祉課

倉敷市身体障がい者デイサービスセンターは、在宅の身体障がい者に対して各種のサービスを提供することで、利用者の自立の促進と社会参加を促進し地域生活を支援することを目的とした、障害者自立支援法に基づく「地域活動支援センター事業」を行っています。

重度重複障害を持つ人や、病気・事故の後遺症により理解力や意思疎通が困難な方に対して、身体的、精神的状態を的確に把握し、利用者の意思及び人格を尊重し、質の高いサービスの提供に努めます。

「地域活動支援センター基礎的事業」では、創作的活動としてパソコン・絵手紙、囲碁等各種講座を開催します。

「地域活動支援センター 型事業」では、地域において雇用、就労が困難な在宅障害者の方に、送迎・入浴・給食・レクリエーション・機能訓練等各種サービスを行います。

社会参加促進事業として各種障害者スポーツ教室を開催するとともに市民を対象としたスポーツ体験教室を開催します。

### 〔主な事業内容〕

#### ( 1 ) 基礎的事業

障害者の社会参加や生活の質の向上、自立を促進するために、パソコン・囲碁・書道・編物・絵手紙等の講座を実施します。

#### ( 2 ) 型事業

##### 基本サービス

##### ア 機能訓練

身体機能の維持と低下を防止するため、利用者のニーズに合わせて個別機能訓練計画をたて、訓練を行います。

##### イ 社会適応訓練

地域で自立した生活を送ることを目指し、社会生活のマナー・コミュニケーション能力を身につけるための指導を行います。

##### ウ レクリエーション

工作・ゲーム・カラオケ・調理、また秋祭り、クリスマス会等季節感のある行事などを行います。

##### エ 健康指導

「デイサービスだより」を発行し、健康に関する啓発活動を行います。

利用者のニーズにあわせて服薬の指導を行います。

毎月体重測定を行い、病気の予防に関する指導を行います。

##### オ 更生相談

障がい者就業・生活支援センターと連携を図りながら社会復帰にむけての相談に応じます。

##### カ 介護方法の指導

必要に応じて家庭訪問を行い、家庭での介護の問題に対して相談支援を行います。



### 送迎サービス

リフト付車輛による送迎サービスを行います。

### 入浴サービス

特殊浴槽・一般浴槽による入浴サービスを行います。

### 給食サービス

利用者の摂食状態にあわせ〔普通食〕「粒ペースト食」「ミキサー食」等の形態に分けた給食を提供します。

### 介護サービス

排泄介助・食事介助・移動介助等，日常生活動作の困難な利用者に対し必要な介護を行います。

### オープンデイサービス

家族に利用者のデイサービスセンターの様子を見ていただくとともに家族からの意見や要望を聞き相談支援を行います。

### (3) 社会参加推進事業

障がい者スポーツ推進のため，アーチェリー・車椅子テニス・車椅子バスケットボール・グランドゴルフ・車椅子ツインバスケットボール・ウイルチェアラグビーの障害者スポーツ教室・体験教室を実施します。

### (4) その他（ピアサポート事業）

社会適応訓練室を開放し，ボランティアと協力しながら，障がい者の自主学習(パソコン)を支援します。

区 分		H 2 0 年度実績	H 2 1 年度見込	H 2 2 年度目標
基礎事業 (講座)	種類	6種類	7種類	8種類
	実施回数	282回	250回	290回
	受講者数	1,669人	1,600人	1,680人
型事業 (サービス)	延利用数	2,748人	3,000人	3,100人
	入浴サービス	1,371人	1,560人	1,600人
	送迎サービス	4,240人	4,700人	4,800人
	オープンデイサービス	20人	14人	20人
	体験利用者数	5人	2人	10人
	デイサービス祭	27人	31人	35人
社会参加推進事業 (障害者スポーツ)	スポーツ教室	2,552人	2500人	2,700人
	体験教室	47人	96人	100人
その他	ピアサポート (パソコン自主学習)	303人	290人	300人
	ボランティア	611人	680人	700人
合 計		7,925人	8,249人	8,645人

## 6. 倉敷市老人憩の家（29施設）

福祉施設課施設管理係

〔中央，茶屋町，中島，天城，笹沖，庄，中洲，豊洲，豊洲中央，庄東，生坂，西阿知，児島，稗田，琴浦，下の町，赤崎，本荘，下津井，郷内，玉島，黒崎，南浦，乙島，長尾，柏島，柏島東，穂井田，船穂〕

憩の家は，地域の高齢者や住民に対し，生涯学習や，レクリエーション等の場を提供して，教養の向上，心身の健康保持および相互の親睦を図り，やすらぎの場とする施設です。このため高齢者や住民が身近に感じ，気軽に利用できる施設になるように努めます。

22年度も引き続き指定管理者として倉敷，児島，玉島地区の29施設の管理運営を行いますが，地域の特性を活かすために，地元の老人クラブ等に一部管理業務を委託し，事業団は維持管理業務等を通じて，側面的に援助，指導を行います。

市民の健康増進と地域活動の活性化のため，地域団体，公共的団体あるいは，自主活動を行っている各種同好会の活動と運営の場として提供します。

利用者の自主活動は，民謡や大正琴，舞踊，卓球，ゲートボール，囲碁，将棋，パソコン等が行われています。また，倉敷市との連携協働の介護予防事業等が順次，開設されています。講座の利用が高まるよう支援を継続します。

### 〔主な事業内容〕

#### （1）各地区共通

国民年金制度・長寿医療制度・メタボリックシンドローム等様々なテーマを設定した教養講座を実施します。

利用者の心身両面の健康を維持増進するため，くらしき健康福祉プラザと協力して転倒予防教室・健康体操・音楽療法教室などを開催します。

市内6児童館と連携し，高齢者・子ども・親子を対象とし，昔遊び・伝統行事・手作りおもちゃ等世代間の交流事業に取り組みます。

地域の親子クラブ・子育てサークルの活動の場として「ふれあいコーナー」や大広間を開放し，子育てを支援します。

#### （2）倉敷地区

ターゲットバードゴルフ・スカッドボール等のニュースポーツを有城荘・西岡荘と協力して実施します。

#### （3）児島地区

調理実習・布ぞうり・エコバッグづくり等女性対象の教室を開催し，女性の利用の増加を図ります。

#### （4）玉島地区

囲碁将棋が盛んな玉島地区で「憩の家囲碁将棋大会」を開催します。高齢者が，普段とは違う人を相手に真剣勝負をすることで，地域の結束と他の地域との交流を深めます。

区 分	H20年度実績	H21年度見込	H22年度目標
倉敷地区	110,915人	112,000人	113,000人
児島地区	67,773人	69,000人	70,000人
玉島地区	70,765人	72,000人	73,000人
合 計	249,453人	253,000人	256,000人

障がい者就業・生活支援センターでは、就業及びこれに伴う日常生活、社会生活上の支援を行うことにより、障がい者の職業生活における自立を図ることを目的に、国・県及び市からの委託を受けて備中県民局管内を対象に、障がい者の就労相談から職場定着までの支援を行います。

障がい者の雇用を進める上では、就職や職場適応などの就業面の支援はもとより、これに伴う生活習慣の形成や日常生活の自己管理などに関する生活支援も重要です。そのため、身近な地域で就業面及び生活面で一体的かつ総合的な支援を行います。

また、障がい者が円滑に職場に適応し、定着できるようにするため、第1号職場適応援助者（ジョブコーチ）を配置し、障がい者が働く職場において障がい者、企業、家族に対してきめ細かな人的支援を行います。

### 【主な事業内容】

#### （1）指導・助言・情報提供

障がい者からの相談に応じ、就業及びこれに伴う日常生活、社会生活上の問題について、必要な指導及び助言等のほか情報提供を行います。

機関紙（ここから）を発行（年6回）し、支援対象障がい者、公共職業安定所等の関係機関、企業に対し、就業や生活に関する情報提供を行います。

支援対象障がい者間、職員との情報交換や親睦交流を深めるため、おしゃべり会（年6回）や在職者交流会等の交流活動を行います。

#### （2）支援計画の作成

支援対象障がい者の障がいの状況や相談に係る問題点を十分聴取し把握した上で、自立に向けた個別支援計画を作成します。

#### （3）関係機関等との連絡調整

より適切な指導、助言を行うため、支援対象障がい者、家族の了解を得たうえで、岡山障害者職業センターや福祉施設、企業など関係機関等との連絡調整を行います。

#### （4）就職に向けた準備支援

公共職業安定所への求職登録をし、職場紹介、職場訪問、実習を支援するとともに、支援対象障がい者が仕事を覚え、職場環境に適応できるようにするためのジョブコーチの派遣、障がい者試行雇用（トライアル雇用）等の制度を活用しながら、就職準備の支援を行います。また、精神障がい者を対象とした就職準備支援事業（ジョブガイダンス事業）を倉敷中央公共職業安定所と共催で行います。

#### （5）離職のおそれのある支援対象障がい者に対する職場定着支援

職場不適応等で離職のおそれのある支援対象障がい者については速やかに状況を把握し、支援対象障がい者、家族、関係機関等と対応策を検討し、職場定着に向けての支援を行います。

#### （6）基礎訓練

併設施設「倉敷市ふじ園」や提携施設において、職業準備訓練及び職場実習の前段階として基本的な生活・労働習慣の習得を目的とした基礎訓練を行います。

また、「障がい者委託訓練」を受託し、就職に必要な基礎的な知識・技能の習得訓練を実施するとともに、習得した知識・技能の応用・定着を図るための実習先企業を開拓します。

(7) 職業準備訓練及び職場実習のあっせん

基本的な労働習慣の体得と職場への適合性を把握することを目的として、公共職業安定所と連携し、岡山障害者職業センター、企業等で実施される職業準備訓練及び職場実習をあっせんします。

訓練に先立ち岡山障害者職業センターに職業評価を依頼し、その結果を踏まえ、必要に応じてケース会議を開催し、訓練方法等について検討します。

(8) 企業への情報提供、助言等

障がい者支援担当者セミナー（企業セミナー）を開催します。

ガイドブックを作成します。

公共職業安定所と連携した障がい者雇用に係る助成金制度等を紹介します。

支援対象障がい者を雇用予定又は雇用中の企業を訪問し、その障がい特性について理解を求めるとともに、労働条件等について相談に応じ、助言を行います。

(9) 連絡会議の開催

就業支援業務を円滑かつ有効に実施するため、岡山労働局、公共職業安定所、岡山障害者職業センター、備中県民局管内（倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、浅口市、早島町、里庄町、矢掛町）の行政機関、福祉施設、保健医療機関、特別支援学校、当事者団体等の関係機関・団体との連絡会議を定期的で開催します。

(10) 情報収集・提供及び研修の実施

障がい者就労支援担当者による情報交換会（年2回以上）を、自立支援協議会（5団体）ごとに開催します。

(11) 職業生活全般に係る支援の実施

支援対象障がい者の職業生活に関する相談（仕事、体調管理等）や生活上（住宅の確保、金銭管理等）の相談等に応ずるなど就業及びこれに伴う日常生活又は社会生活に必要な支援を行います。

	H 2 0 年度実績	H 2 1 年度見込	H 2 2 年度目標
相談・支援件数	9,838件	8,000件	9,000件
登録者数(人)	350人	350人	360人
就職者(件)	55件	50件	53件
職場実習(件)	52件	50件	55件

雇用されることが困難な知的障がい者を対象として、社会参加・自立に必要な支援を行うとともに、作業実習を通して自活できる能力を高めることを目的とする、知的障がい者授産施設です。

平成18年4月から施行された障害者自立支援法に基づく新体系の事業への移行期限が平成23年度末までとなっております。

倉敷市ふじ園においても、利用者ニーズをはじめ、倉敷市障がい福祉計画に対応し、かつ倉敷市ふじ園の特徴を活かせる事業への円滑な移行ができるよう、倉敷市と協議を行います。

就労に関しては、現在の厳しい社会状況にあっても、倉敷市ふじ園においては平成21年度は5名が就職しました。一般就労への移行者をさらに増やしていくため、職場開拓や、研修を通じた支援力を強化するほか、より良い仕組み作りに取り組みます。

地域移行に関しては、利用者の「自己選択と自己決定」を尊重しながら家族や関係機関との緊密な連携ならびにネットワークの構築を行い、より一層利用者の社会参加の実現を図ります。また利用者の多様なニーズに的確・迅速に対応できるよう適宜懇談や満足度調査を実施し、質の高いサービスを提供するとともに、より効率的な運営を図ります。

【主な事業計画】

(1) 就労に必要な知識および能力の向上

倉敷障がい者就業・生活支援センターやハローワーク、岡山障害者職業センター等関係機関との連携強化に努め、利用者の適性・能力を的確に把握するとともに、実習や就職の受け入れ企業の開拓を行い、関係諸制度を活用して就労へと導きます。さらに、退所後も職場訪問や退所者の会を開催するなど相談に応じられる体制を整え、アフターケアの充実に努めます。

	H20年度実績	H21年度見込	H22年度目標
在籍者数(3月31日現在)	32名	26名	30名
延利用者数	6,653名	6,419名	6,600名
延職場実習日数	123日	193日	200日
就職者数	4名	5名	6名

(2) 作業支援ならびに授産種目の開拓

利用者の主体性の向上と就労意欲の喚起を促します。作業を通じて、働くよるこびを得るとともに、一般就労に必要な基本的職業習慣が身につくよう支援します。また個々の能力開発に力点を置き、知識および作業能力の向上を図り、効率的な支援を実施します。

岡山県工賃倍増5か年計画において、目標工賃の設定を含めた具体的な取り組みを進めることが求められています。これに基づき、現在の作業内容を見直すなど、工賃の増加を目指します。

## 作業種目

作業種目	見直し
園芸・ガム除去	栽培種目の拡充，販路の拡大
縫製	新製品の開発，販路の拡大
焼き菓子製造・販売	新製品の開発，販路の拡大
ボールペンの分解・組立	主体的な活動にしていくための作業環境の見直し

## 利用者の月額平均工賃

	H 2 0 年度実績	H 2 1 年度見込	H 2 2 年度目標
平均工賃	1 4 , 3 1 5 円	1 5 , 9 2 0 円	2 0 , 0 0 0 円

### ( 3 ) 生活体験

#### 施設内生活体験

社会生活や職業生活を営むうえで必要な知識，技術等の習得を図るため，学習・クラブ活動等を実施します。また，個別のニーズに合わせ，SST（ソーシャルスキルトレーニング）を実施します。

#### 施設外生活体験

各種行事やレクリエーション等を通して，金銭管理，公共交通機関の利用や電話の応対等，社会体験の機会を増やします。

#### 健康と体力増進

体力の増進のため作業前に体操を行うほか，クラブ活動で利用者のニーズに合わせたスポーツを取り入れます。また嘱託医検診と定期健康診断を通じ，心身の健康状態の把握に努めます。

### ( 4 ) 防災計画

倉敷市ふじ園防災計画を作成するとともに，避難訓練を月 1 回実施します。

### ( 5 ) 施設の開放ならびに利用促進

地域の中学校・高等学校からの体験交流活動の受け入れや，教職員・福祉専門職員を目指す大学生の体験実習・援助技術現場実習等の場の提供を通じて，施設が保有する人的・物的資源を積極的に地域へ開放します。

平成 1 9 年度から年 3 回実施している酒津公園での花の植え込み行事に，倉敷ボランティアセンターとの連携によりボランティアの受け入れを行っており，参加ボランティアが定着しつつあり，今後も障がい理解のさらなる向上に取り組みます。その他の活動についても関係機関との連携を深め，今後一層の受け入れを行います。また受け入れるだけでなく，利用者が出向いてともに活動できる場を提供していただけるボランティアの開拓を行います。

実習・ボランティア受入区分	受け入れ予定人数
社会福祉援助技術現場実習	2人（実習内容の改善を行います）
介護等体験実習	50人（実習内容の改善を行います）
ボランティア	40人 【内訳】 ・花苗移植：2人×3回 ・酒津花苗植え込み：10人×3回 ・その他：4人 （倉敷ボランティアセンターと連携し、活動プロセスの改善を行います）

（6）事業団内他部署との連携強化

倉敷市総合福祉事業団は多様な福祉施設・事業の運営の経験を有する一方、音楽療法士・言語聴覚士・健康運動指導士など豊富な人材を有しています。余暇活動の充実や健康の増進など、利用者ひとりひとりの生活の質の向上に資するため、これらの資源を有効に活用すべく連携を強化していきます。

### 倉敷市くすのき園

倉敷市くすのき園は、ノーマライゼーションの理念に基づき、子どもの成長に対する支援に加えて障がいに対する支援を提供するという点を重視し、「利用者のニーズに応えられる園であること」「地域活動の場であること」そして「地域へ貢献できる園であること」を目指した療育に取り組みます。

現在、障害種別に制約されない支援を目指し、肢体不自由児のみならず、知的障がいあるいは視覚・聴覚障がいといった重複する障がいをもつ子どもや重症重度の障がいをもつ子どもへの支援が必要となっております。今後は、感覚統合療育を中心に個々のニーズや発達に応じた支援を展開するとともに、「個別支援計画」を保護者と共に作成し、発達の可能性を最大限に引き出すための療育を提供します。加えて、保護者に対して家庭療育についての指導、相談援助ができる体制づくりに努めます。

また、公益性・公平性・効率性を重視した運営を行い、多様な専門職及び系統立てた組織により柔軟かつ円滑に地域のニーズに対応していきます。

その他、地域社会に暮していく障がい児の豊かな生活を実現するため、家庭における介護支援の一環として「障害者自立支援法」に位置付けられている地域生活支援事業の「日中一時支援事業」を実施しています。利用拡大を目指し、地域の中であって、より身近な存在となるように努めます。

利用者のニーズが、多様化している中で、常に業務の改善に取り組み、より良いサービスを継続的に提供するため、専門技能の研鑽に励みます。

#### 【主な事業計画】

##### (1) 療育体制

個々の児童の発達状態を正確に把握し、必要な療育や援助を提供できるよう多職種の専門職員と連携を図り、「個別支援計画」に沿った療育を行っていきます。個別指導と集団指導を効果的に行いその相互作用による最大限の支援を実施します。

個人情報取り扱い、プライバシーの配慮については、十分に留意します。

##### (2) 社会的体験行事の開催

季節行事を取り入れ児童の社会性を高めるとともに、これらの行事を通して利用者・職員の円滑な関係を作り上げます。

行事の実施に当たっては、他施設、保育園等の地域資源を活用しボランティアの参加を積極的に取り入れ、児童の生活経験が広がるよう努めます。

##### (3) 療育相談活動の実施

家庭療育についての助言・育児不安や情報提供等の相談活動を実施するとともに保護者との協力体制を確立し、地域の療育支援や育児支援の拠点施設を目指します。

##### (4) 関係機関・団体との連携

児童相談所・医療機関・保健機関等との連携を密にして施設をPRし、業務の活性化をはかるとともに、関係団体による研修会等に積極的に参加して職員の資質の向上を図ります。



( 5 ) 地域福祉の推進

誰もが豊かに生活できる地域社会の実現を目指し、地域との交流や広報活動を推進していく上で、ボランティアの育成・実習生の受け入れを積極的に行います。

( 1 ) くすのき園

区 分	H 2 0 年度実績	H 2 1 年度見込	H 2 2 年度目標
措置児・契約児数	2 0 人	3 0 人	3 0 人
延利用児数	1 , 4 5 5 人	2 , 2 8 9 人	2 , 3 4 0 人

( 2 ) 日中一時支援事業

区 分	H 2 0 年度実績	H 2 1 年度見込	H 2 2 年度目標
利用児数	1 0 人	1 4 人	1 4 人
延利用児数	9 2 人	2 3 4 人	2 3 4 人

**重症心身障害児（者）通園事業B型（ふれあいの家）**

在宅の心身障がい児（者）が、通園の方法により、在宅で生活するための日中活動の場を提供することにより、精神的・身体的機能の予防と家庭介護の軽減を図ります。加齢とともに年々重症化してきている利用者の状態を把握し、安心して過ごすことができる場を提供します。

( 1 ) 療育

利用者の健康の維持・増進に努め、身体的・精神的機能の維持と改善を促すよう、援助します。

また、創作活動やペットボトル収集等のエコ活動を行い、社会参加に繋がる支援を目指します。

( 2 ) 活動

日々の個別活動・グループ活動を通して、次のような目標で実施します。

生活リズムの確立

情緒の安定

人・物に対しての興味の拡大

生きがいや達成感の充足

保護者に対しての療育及び介護支援

( 3 ) 行事

季節毎の行事や音楽を取り入れ、様々な体験や活動を実施するとともに、他施設との交流など、社会参加につながるようなプログラムを取り入れるよう努めます。

( 4 ) 関係機関・団体との連携

本体施設である倉敷市くすのき園と一体になり関係機関と連携し、地域に根ざした施設となるよう努めます。

区分	H 2 0 年度実績	H 2 1 年度見込	H 2 2 年度目標
延利用者数	5 7 5 人	3 9 4 人	3 9 6 人

### 倉敷市西岡荘

西岡荘は、地域の60歳以上の高齢者が健康で明るく楽しい生活を営むために各種相談をはじめ、健康の増進・教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与します。高齢者相互の親睦を深め、また地域社会でいきいきと過せるよう生きがいくくりと明るい社会生活が営めるよう支援することを目的とした第2種社会福祉事業施設です。

#### 〔主な事業計画〕

##### (1) 各種相談事業

生活・住宅・身上等に関する相談及び生業・就労等の支援を行います。

疾病の予防・治療・機能訓練等に関する相談援助を行います。

看護師による健康相談。

##### (2) 教養講座等

高齢者のふれあいの場・学びの場となるよう絵手紙など創作的な講座、太極拳・健康体操・元気体操などの健康講座をはじめ高齢者に関心の高い国民年金制度や国民健康保険制度に関する講演会などを開催し、高齢者の自立及び教養の向上を図りよりよい社会生活が営めるよう支援します。

###### 音楽健康体操

音楽療法と軽い室内運動により、楽しみながらリズムを感じ体を動かすことで、介護の必要のない健康な心身を持続させる。

平成22年5月～毎月2回、平成23年1月迄の18回（1回1時間30分）

###### わくわく元気体操

平成22年5月～毎月2回、平成23年1月迄の18回（1回1時間30分）

###### 初めての太極拳

平成22年4月～毎月2回、平成23年1月迄の20回（1回1時間30分）

###### 寿講座

平成22年6月～毎月1回、平成22年12月迄の7回（1回1時間30分）

国民年金制度、国民健康保険制度、女性の健康づくりなど7講座

###### 創作活動

ア 絵手紙 6月～2月（月1回）

イ 手芸 6月～9月（月2回）

ウ 竹細工 6月～9月（月2回）

##### (3) レクリエーション

高齢者の憩いの場として、カラオケ・ビリヤード・囲碁・卓球等の娯楽器具を設置し、多数の方々が気軽に出会い楽しく過せるようストレス解消・健康の増進が図られるよう支援します。また、カラオケ・ダンス・文化琴などの同好会の育成に努めます。

###### ふれあい事業

ア ふれあいお茶会

- イ ふれあいコンサート
- ウ ふれあい料理教室
- エ 焼き芋大会
- オ 昔遊び大会
- カ 郷土探訪と歴史の研究ウォーク  
4月13日(水)春の古代山城を歩く(鬼ノ城)

(4) 入浴事業

高齢者のふれあいの場として、大きな浴槽で清潔な湯にゆったりと入り、日頃のさまざまな思いを語り合いながら心と体をリフレッシュしてもらい健康維持に寄与するように努めます。

(5) 荘演芸大会

カラオケ・舞踊・ダンス等日頃の練習の成果を発表する場として演芸大会を年2回開催し、相互の親睦を深め稽古の励みとなる場を提供します。

区 分		H 2 0 年度実績	H 2 1 年度見込	H 2 2 年度目標
利用者実人員		24,999人	25,500人	25,700人
内 訳	健康相談	954人	1,050人	1,100人
	教養講座	1,398人	1,300人	1,400人
	レクリエーション	11,003人	11,100人	11,200人
	入浴事業	15,573人	16,100人	16,200人

内訳欄は重複利用者を含む

### 倉敷市有城荘

地域の60歳以上の高齢者に対し、各種の相談に応ずるとともに健康の増進・教養の向上、及びレクリエーション等の便宜を総合的に供与し、高齢者が健康で明るい生活を営めるよう支援することを目的とした第2種福祉事業施設です。

#### 【主な事業内容】

(1) 各種相談事業

生活・住宅・身上等に関する相談、及び生業・就労等の支援を行います。  
 疾病の予防・治療・後退機能の回復訓練等に関する相談援助を行います。  
 看護師による健康相談。

(2) 教養講座

生きがい対応型デイサービス事業については、高齢者のニーズに応え屋内外で実施するグランドゴルフや軽スポーツ、また、心と体の健康づくりに効果がある音楽やニュースポーツ講座等を行うことで、高齢者の自立及び教養の向上を図り、毎日を健康で明るい生活が営めるよう支援します。

(3) レクリエーション

高齢者の憩いの場として、卓球・カラオケ・ビリヤード・囲碁・将棋等の娯楽器具を設置し、休養室等で気軽に楽しく過ごしストレスの解消・健康の増進を図ります。

また、陶芸・木彫り・手芸・絵手紙・軽スポーツなどの同好会の育成に努めます。

(ふれあい事業)

常に利用者のニーズの把握に努め満足してもらえる事業をめざします。

- ・ ニュースポーツ
- ・ ウォーキング
- ・ 民謡
- ・ コーラス
- ・ ヨガ
- ・ すっきりいきいき体操
- ・ 郷土の歴史探訪
- ・ やさしいヨガ
- ・ ラジオ体操
- ・ 健康セミナー
- ・ しめ縄作り
- ・ 有城荘まつり

(4) 入浴事業

高齢者の健康増進の場として、大きな浴槽にゆったりと入ってもらい、日頃の思いを語り合いながら心と体のリフレッシュに努めます。

(5) シルバー作品展

本年度もシルバー作品展に参加します。倉敷市からの業務委託を受けるとともに、知識・技能を生かして製作した作品を出品し、高齢者の生きがいの増進に寄与します。

(6) 有城荘まつり・カラオケ大会

講座・同好会の方々の一層の励みとなるよう日頃の練習の成果を発表する場として、また、地域との交流を図るため、有城荘まつり及びカラオケ大会を開催します。

区 分		H 2 0 年度実績	H 2 1 年度見込	H 2 2 年度目標
利用者実人員		21,315人	23,300人	24,000人
内 訳	健康相談	482人	330人	350人
	教養講座	1,098人	2,070人	2,100人
	レクリエーション	18,224人	18,470人	19,000人
	入浴事業	11,705人	11,690人	12,000人

内訳は重複利用を含む。

長期にわたり日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける在宅の身体障がい者，知的障がい者又は，精神障がい者及びその家族の方々に日常生活の支援，相談・情報提供，地域交流活動などを行い，障がい者の方々の自立と社会復帰及び社会参加を促進し，障がい者の福祉の増進を図る第2種社会福祉事業です。なお，障害者自立支援法上の相談支援事業及び地域活動支援センター型事業です。

### 倉敷市児島障がい者支援センター

#### (1) 日常生活支援

障がい者やその家族に憩いの場を提供するとともに，様々な集団的活動を通じて，より一層社会性を高めるよう支援をします。又，日常生活上の様々な課題や余暇活動などについて支援し，生活の質の向上を図ります。具体的には，図書，囲碁，将棋，各種ゲーム，カラオケ，パソコン，卓球，飲み物などを備えたサロンの空間を利用者に提供するとともに，簡単クッキング，パソコン教室，絵画教室，わいわいカラオケ，卓球サークル，囲碁・将棋サークル，視覚障がい者向けパソコン教室など各種教養・技術習得・レクリエーションなどのプログラムに利用者が主体的に参画していけるよう計画的に実施します。

また，利用者とセンターの職員が自由に意見交換することができる定例会を開催します。

#### (2) 在宅福祉サービスの利用援助

福祉サービスの情報提供，利用助言，申請手続きの支援など在宅福祉サービスの利用援助を行います。

#### (3) 相談・情報提供

電話，面談，訪問などにより生活上の問題や心の悩みの相談を受け，関係機関と連携して解決を図るとともに，相談者自身が本来持っている力に気づき，その力を向上させていけるよう支援します。又，各種の生活情報の収集，提供も行います。登録者のうち希望する人には，本人とともに現在の課題を整理して短期及び長期の目標を設定し，個別支援プログラムによる支援を行います。

身体障がい者，知的障がい者，精神障がい者を対象に，ピアカウンセラーが気楽な雰囲気の中で様々な課題について話し合うピアサロンを，当センター及び関係機関において実施します。又，当事者同士で気さくに話し合い支えあう茶話会を行います。

支援センターの情報発信として，ホームページの活用をするとともに，機関紙「はばたき通信」を毎月発行します。

#### (4) 地域交流活動

障がい者の自主的活動を促進し，地域との交流の場を広げるため，地域で行われる行事に積極的に参加し，ふれあい支え合うことを通して一層の交流を深めます。

具体的には，はばたき祭り，バス旅行，クリスマス会，ガイドヘルプボランティア講座の開催及びボランティア団体の育成，地域への出前講座など各種の交流，障害の

普及啓発に努めます。特に、はばたき祭りは、当事者や地域の諸団体が主体の実行委員会組織により、「地域と共に」地域に根ざした交流行事にしていきます。

(5) 障がい者及びその家族等の地域生活の支援

障がい者が地域社会において将来、社会自立をするために家族として、親としてどのように向かい合い係わりあっていったらよいか大変深刻な問題であります。

当事者や家族の様々な悩み等に対して、積極的に相談及び支援をします。また、関係機関と密接な連携を図りながら地域社会のなかで障がい者が自立できるよう、様々な支援をします。

区分		H20年度実績	H21年度見込	H22年度目標
登録者数 (3月31日現在)	精神障がい者	78人	83人	85人
	知的障がい者	26人	28人	29人
	身体障がい者	30人	33人	34人
登録者数合計		134人	144人	148人
延利用者数	精神障がい者	13,351人	12,792人	13,176人
	知的障がい者	2,148人	2,357人	2,428人
	身体障がい者	2,383人	1,781人	1,834人
	ボランティア等	2,462人	2,204人	2,270人
年度延利用者数合計		20,344人	19,134人	19,708人

平成20年度は実績値。

平成21年度は(12月までの実績値) + 1~3月の見込値。

平成21年度は年度延利用者数で、対前年比94%。

平成22年度は見込値(対前年比3%増)。

## 倉敷市玉島障がい者支援センター

(1) 日常生活支援

障がいのある方や、ご家族等が気楽に安心して憩える場を提供するとともに、様々な集団生活を通じて社会性が高まるように支援します。また、食事、趣味、就労、技術習得などの課題についても支援します。具体的には、各種ゲーム、カラオケ、パソコン、ビリヤード、季節行事、簡単クッキング、また卓球・ビリヤード大会の開催など、施設や事業の充実に取り組み、日常生活の質の向上を図ります。

(2) 在宅福祉サービスの利用援助

福祉サービスの情報提供、利用の助言、申請手続きの支援など在宅福祉サービスの利用援助を行います。

(3) 相談・情報提供

電話、面接、訪問等により日常的な諸問題や心の悩み相談を受け、関係機関と一層の連携を図りながら、よりよい支援を行います。地域ケア会議の開催や関係機関との連携を通じて、障がいのある方が地域で生活しやすいようにその役割を果たしていきたいと思います。

また、各種の生活情報の収集をはじめ、隔月機関誌「玉島はばたき便り」を発行し、情報提供・啓発活動に努めます。また、偶数月に倉敷障がい者就業・生活支援センター職員の協力の下に出張相談会を継続し、就労に関する相談、嘱託医による医療、健康相談や手話通訳による手話相談を行います。

身体・知的の障がい者の方を対象に実施しているピアカウンセリングとともに、当事者が主体となり進行していく茶話会を実施し、当事者の相互理解から問題解決の場となるよう支援します。

#### (4) 地域交流活動

障がいのある方々が自主的に各種行事に参加し、地域住民とふれあい支えあい、より一層の交流を深めるため、障害者団体等からの情報を提供し、各種イベントや地域活動への参加を支援します。はばたき祭り、バス旅行、クリスマス会、支援センター交流会を行います。また、地域に根ざすことを目的に「玉島はばたき」のロゴマークを作成し、センターのPR活動を行います。

また、障がい体験講座を実施するなど当事者、家族、障がい者団体の交流支援を行い、センター活動の充実を図ります。

#### (5) 障がい者及びその家族等の地域生活の支援

家族との相談を含めた支援は当事者を支援する上で不可欠なことであり、当事者のエンパワメントを高め問題解決につながると考えます。障がいのある方々が地域生活において自活するため、当事者の方やご家族のさまざまな悩みに対して家族間調整を図るなど、積極的に相談及び支援をします。

また、関係行政機関等と連携を図りながら地域生活が円滑に行えるように支援をしていきます。

区 分		H20年度実績	H21年度見込	H22年度目標
標登録者数 (3月31日現在)	精神障がい者	67人	70人	72人
	知的障がい者	28人	32人	32人
	身体障がい者	13人	12人	12人
延利用者数	精神障がい者	9,450人	9,097人	9,369人
	知的障がい者	2,856人	2,834人	2,919人
	身体障がい者	710人	845人	870人
	ボランティア等	1,036人	364人	374人
利用者数合計		14,052人	13,140人	13,532人

### 倉敷児童館

### 倉敷北児童センター

### 水島児童館

### 児島児童館

### 玉島児童館

### 真備児童館

児童館は、児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする第2種社会福祉事業の児童厚生施設です。

少子進行社会にあって、児童が心身ともに健やかに生まれ育つための環境づくりを行うとともに、地域の子ども達が多く楽しくふれ合える場、子ども達が安心して過ごせる居場所を提供し、児童福祉の向上に努めます。

また、児童館の適正な管理及び円滑な運営を図るため「倉敷市児童館運営委員会」を開催し、幅広い視野での見識と情報収集に努め、よりよい内容の事業を実施していきます。

地域組織としての母親クラブを中心に地域住民と協働の活動や高齢者との交流事業を促進し、関係機関とも連携を図ります。

なお、玉島児童館は6月に新児童館へ移転します。

### 【主な事業内容】

#### (1) 児童館で共通に取り組む事業

4月には児童福祉週間の一環として“倉敷っ子フェスティバル”を各児童館会場で開催します。

また、地域を越えて集い、親子で楽しくふれあう“キッズカーニバル”を「くらしき健康福祉プラザまつり」に合わせて6児童館合同で開催します。

#### (2) ふれあい事業

親子でのふれあい、交流の促進

年長児童と乳幼児との出会い、ふれあい、交流の促進

児童と高齢者との出会い、ふれあい、交流の促進

#### (3) 出前事業

児童館が地域や放課後児童クラブ、親子クラブ・子育てサークル等からの要望に応じて出かけ、また、いきいきフェスタ、子どもまつり等に参画する等、地域の親子や児童が楽しく遊ぶ“出前キッズ号”を各児童館が6回以上実施します。

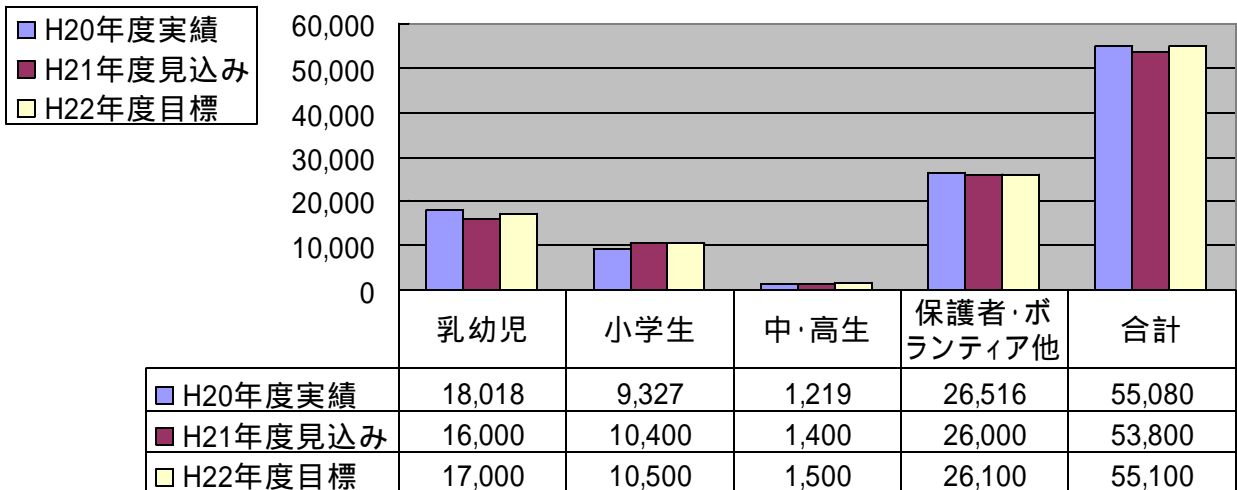
#### (4) 子育て支援事業

乳幼児と保護者に遊び場や育児に関する情報を提供し、子育て支援センター等の協力も得て、子育て相談を行います。遊びを通して親子の絆を深め保護者同士の交流を図ります。

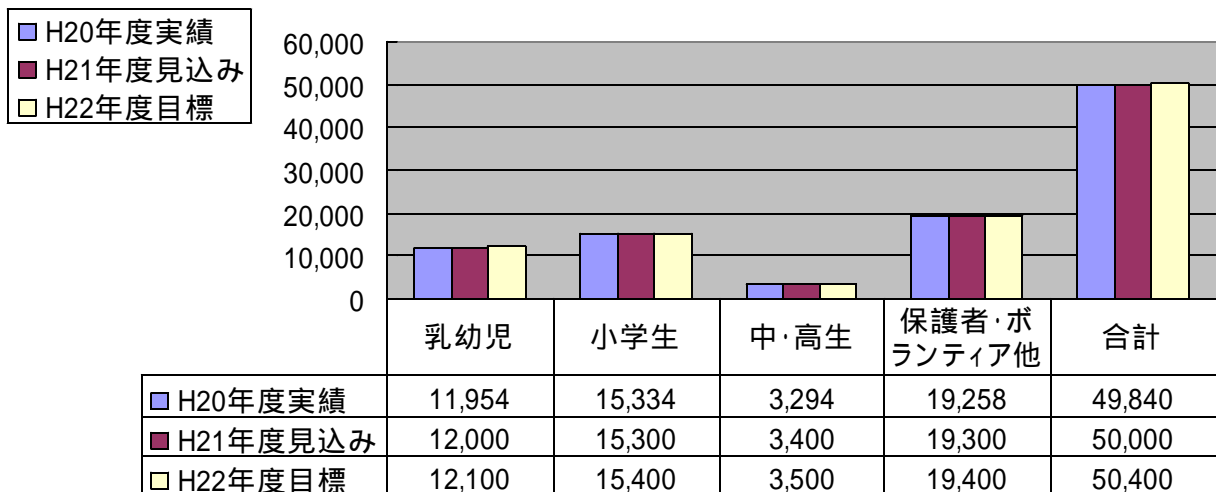


- ( 5 ) 遊びを通して健全育成を図る事業
  - 体力増進活動の促進（サッカー，卓球，一輪車等）
  - 文化，創造活動の促進（おはなし会，工作等）
  - 自然環境活動，食育の促進（自然観察，クッキング等）
  - 各種クラブ活動の育成（乳幼児，小学生以上を対象とした各種クラブ）
- ( 6 ) 障がいがある児童や不登校児の支援
  - 障がいがある児童や不登校児が，児童館での活動に参加できるよう支援をします。
- ( 7 ) 地域組織や母親クラブ，その他関係団体等の育成
  - 児童館活動を通じて，地域組織・母親クラブ，その他地域関係団体等各種団体の育成に努めます。
- ( 8 ) 留守家庭児童の支援
  - 学校休業日を中心に異年齢での交流や遊びの支援を行います。
- ( 9 ) ボランティアの育成事業と実習生の受け入れ
  - ボランティアや実習生を積極的に受け入れ，乳幼児とふれ合う機会を設け，次世代育成に努めます。
- ( 10 ) 児童館の広報活動
  - 児童館活動及び行事等は「広報くらしき」やホームページ・ケーブルTV等報道機関を通じてPRします。また，「児童館だより」を毎月発行し行事予定等を知らせます。
- ( 11 ) 「つどいの広場」事業
  - 新しい玉島児童館の3階で子育て中の親子が気軽に集い，打ち解けた雰囲気の中で語り合い，相互に交流を図るための常設の場「つどいの広場」を開設します。

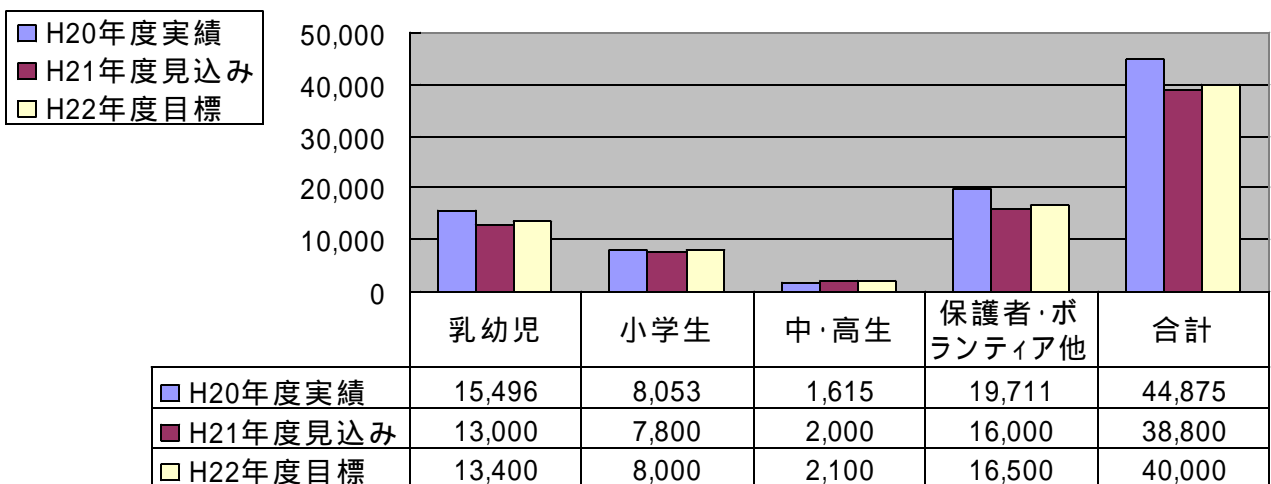
〔 1 〕 倉敷児童館



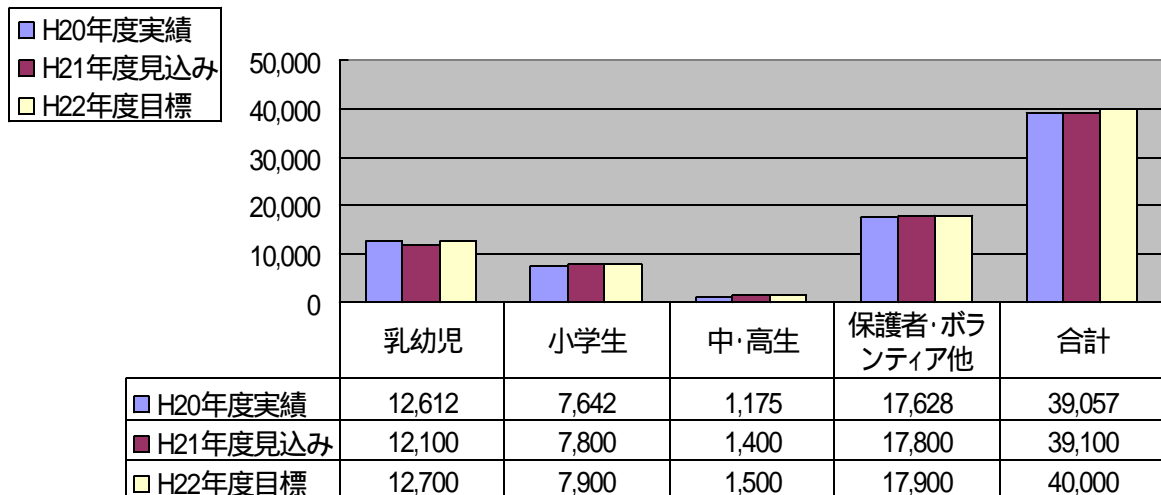
〔 2 〕 倉敷北児童センター



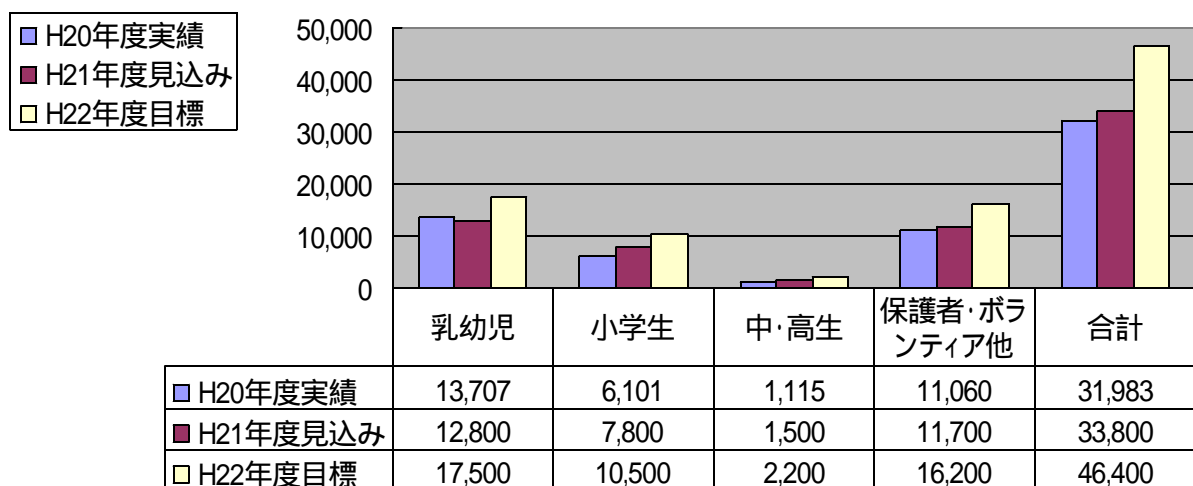
〔 3 〕 水島児童館



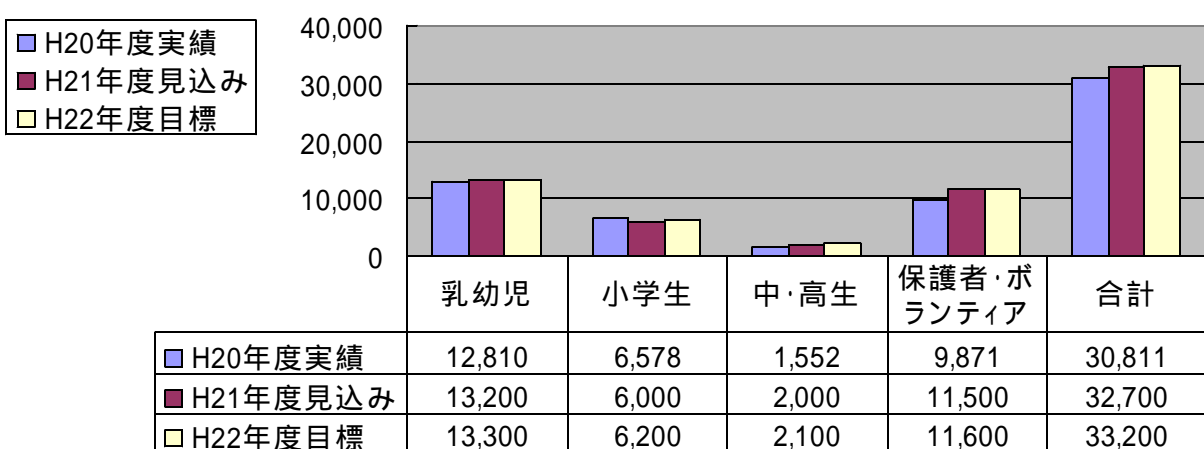
〔 4 〕 児島児童館



〔 5 〕 玉島児童館



〔 6 〕 真備児童館



### 1 3 . 在宅福祉課

在宅福祉課

#### ( 1 ) 訪問介護事業 ( ホームヘルプサービス )

介護を必要とする高齢者や障害者の方が、住み慣れた家庭や地域において可能な限り自立した生活を送り続けていくことが出来るよう、介護保険制度等に基づく指定事業所として、ホームヘルパーを派遣し、生活全般にわたる援助を行います。

平成 2 1 年度に介護保険の特定事業所加算 の適用事業所となりましたが、今年度は、更なるホームヘルパーのキャリアアップを推進し介護サービスの質の向上に努めるとともに居宅介護事業所等の関係機関への空き情報等の提供を実施し、利用者減少に歯止めをかけるよう努めます。

平成 2 2 年度目標数値 ( 1 ヶ月当りの平均利用者数 )

区 分	倉 敷	水 島	児 島	玉 島	合 計
介護保険	57人 (55)	53人 (52)	82人 (80)	47人 (43)	239人 (230)
介護予防	55人 (53)	40人 (39)	28人 (27)	32人 (31)	155人 (150)
自立支援	50人 (48)	20人 (20)	15人 (15)	18人 (18)	103人 (101)
地域生活支援	7人 ( 7 )	3人 ( 3 )	0人 ( 0 )	3人 ( 3 )	13人 (13)
合 計	169人 (163 )	116人 (114)	125人 (122)	100人 (95)	510人 (494)

( ) は平成 2 1 年度見込数

#### ( 2 ) 養成研修実習生受け入れ

介護福祉士やヘルパーの資格取得のための実習について、学校からの依頼に基づき介護実習生をホームヘルプステーションで受け入れを行います。

学校数7校。延べ55人(平成21年度見込 8 校，延べ60人)

#### ( 3 ) 居宅介護等支援事業

介護保険制度に基づき、居宅介護支援事業者の指定を受け、ケアマネージャーが、ケアプランの作成等の業務を行います。

平成 2 1 年度に特定事業所加算 の適用事業所となりましたが、公正中立の事業所として、利用者本位のサービス向上のため引き続き努めてまいります。また、利用者増加に向け関係機関との連携強化を図ってまいります。

平成22年度目標数値 ( 年間1月当りの平均利用者数 )

区 分	倉 敷	児 島	玉 島	合 計
要介護 1	40人 (38)	40人 (38)	13人 (11)	93人 (87)
要介護 2	38人 (37)	42人 (41)	8人 (9)	88人 (87)
要介護 3	25人 (25)	22人 (22)	6人 (5)	53人 (52)
要介護 4	15人 (15)	23人 (23)	4人 (4)	42人 (42)
要介護 5	12人 (12)	9人 (9)	2人 (2)	23人 (23)
合 計	130人 (127)	136人 (133)	33人 (31)	299人 (291)

( ) は平成 2 1 年度見込数

( 4 ) 要介護等認定調査事業

前年度に引き続き介護保険認定調査・障害者自立支援障害程度区分認定調査を受託実施します。

介護保険認定調査 80件 (平成21年度見込75件)

障害者自立支援障害程度区分認定調査 120件 (平成21年度見込200件)